

箱崎まちづくり新聞

発行者 箱崎まちづくり協議会
事務局
電話 651-7708
(公民館)

★ 新箱崎駅誕生 (平成14年12月1日)

高架になった新箱崎駅が開業しました。



福岡市が進めるJR鹿児島線の高架化事業に伴う箱崎駅の新築工事が終了し、旧駅舎より440メートル北側に移った新駅の営業が始まりました。今年度開通したのは下り線で、上り線は平成16年春、開業の予定です。

箱崎まちづくり協議会では、旧箱崎駅広場において「ありがとう！112年間。旧箱崎駅を感謝する集い」を歴史文化部会中心に開催しました。まず駅員OBの方々、小学生、地元住民に旧駅の思い出を語っていただきました。又、箱崎中学校プラスバンドの演奏、にわか、南京玉すだれ、婦人会の踊り等で盛り上がりました。最後は「鉄道唱歌(箱崎編)」を演奏する箱崎小学校金管バ

ンドを先頭に、参加者全員で新駅までパレードをしました。新箱崎駅のコンコースでは変わりゆく箱崎の変遷を明治、大正、昭和の写真でたどる懐古展も行われました。

お昼からは新箱崎駅開業をお祝いして、箱崎まちづくり協議会・歴史文化部会の「箱崎の歴史探訪」が行われました。これは「駅長おすすめの散歩道」として、事前に参加者を募りました。当日は39人が参加。毎月勉強会を行っている歴史・文化部会委員さんがボランティアガイドとなり、筥崎宮やお寺・遺跡等のガイドをしました。遠方から参加された方々に箱崎の魅力が伝わったと思います。



歴史部会ボランティアガイドの一日

歴史文化部会 部会長 井上 俊男

12月1日午後から新駅開業をお祝いして、JR九州が募集した箱崎歴史散策「箱崎駅長おすすめの散歩道」に、われわれ歴史文化部会はボランティアガイドとして、箱崎のまちを案内した。

まず、39名の参加者に対し、駅長の挨拶、歴史文化部会長のお礼の後、駅構内に展示している古い箱崎の写真により箱崎の町の変化について概要を紹介した。部会員一人が1箇所のガイドを受け持つということで事前勉強会を開いてはいたが、多数の参加者を前にしてあがりはしないかと心配だったが、それ以上に総勢50名あまりの人員の移動にたいして、事故がないことを祈りながら出発した。

散歩道のコースは、田の地蔵～米一丸供養塔～勝軍地蔵～九州大学構内史跡～車僧観音～鯨塚～宇佐殿～玉取恵比寿～武内通り～恵光院～筥崎宮へであった。各人が事前勉強した熱意あふれる説明のあと、旧箱崎駅を見ながら新箱崎駅に到着し3時間30分の長丁場であったが盛況の内に無事解散することができた。これも、交通量の多い中、お客様を適切に誘導していただいた交通安全協会に大変感謝している。

今後とも、ガイドボランティア登録した全員が、史料に書いてあるものを暗記して説明するだけでなく、地域における秘話を紹介できるように勉強したいと思っています。

歴史文化部会ではボランティアガイドの募集もしています

詳しくは公民館にお問い合わせください。

★ ガーデニング教室

師走に入った12月7日(土) 暮らし交流部会の企画による、季節の花を鉢植えする「ガーデニング教室」を箱崎公民館において開催しました。

32名の参加者があり、会場いっぱいの盛況となりました。講師には箱崎本通り、大津生花店より園芸専門家の安河内健治氏を招きました。

した。今回は初心者向けとして予め丸鉢に培養土と花は可憐なパンジーを用意しました。

先ず講師より鉢植えの心得と注意について話があり、引き続いて、赤、白、ピンク、紫、色とりどりの苗を中心部より配色を考えながら植えていきます。受講の皆さんはさすが慣れた手つきの方々ばかり。中には講師より順序の手ほどきを受ける方、又女性が多い中男性五人も負けず頑張っていました。最後に質疑に入り、熱心な質問が次々と出て皆さんの興味の深さが伺えました。最後にガーデニングにもっとも必要な肥料と配水についての話があり、約90分の講座でしたが終始みんなの笑顔が絶えず大変楽しい時を過ごしました。



好評につき次回は中級ガーデニング教室を企画いたしたいと考えています。

★ 筥崎宮の前の歩道が歩きやすくなりました

箱崎商店街リフレッシュ事業による本通りの歩道整等は1昨年に完成しておりました。



特に、筥崎宮の前の道路は、バリアフリーを導入し、人に優しく、車椅子の方でも通りやすいように、段差を無くした道路が完成しておりましたが、逆に、車両などが止めやすくなり、歩行者の妨げになっておりました。

このため、箱崎まちづくり協議会では、地元の方々の意見を参考に筥崎宮、関係者と協議を重ね、東区役所に車止めを設置していただきました。これで、安全で歩行しやすい歩道になります。

なお、この車止めは、可動式で、玉せせり、放生会などの祭りの時は地中に収納する事が可能です。当協議会は、今後も校区の皆様方のご意見、ご要望をお

聞きし、住みやすいまちづくりを目指してまいりますのでご協力をお願い申し上げます。



四方山話

『社日祭』

古田鷹治



この冬は寒い日々であったが、それでも季節は正確に巡ってくる。春の社日ともなれば、まだ冷いとはいえず、水も心なしかぬるみ、春がもうそこまできてくることをそこはかとなく感じる。

社日とは春秋二回、春分、秋分に一番近い「つちのえ」の日で、この日は土の神に豊年を祈り、また感謝する日である。この日は早朝から、筥崎宮から浜へのお汐井道には近郷近在の善男善女で溢れる。社日詣りという、いわゆる社日のお汐井取りの人々である。この日、お汐井取りは絶対欠かせない。社日のお汐井は特別に有難いという。

箱崎の特に古い家では、玄関や裏口には必ずお汐井テボが置かれていた。家人が出かけるときには、必ず体にふりかけ安全を祈る。習い性となつていたので先ず忘れることはない。旅行に出かけるるときや、病気全快の座敷に、また、棟上げ新築の折にも周辺に巻いて清める。昔は田賞めのときにもまいて豊作を祈ったと古老は語る。

戦前は社日の早暁、志免、宇美方面の粕屋あたりから青年団員たちが車力を曳きわだちをきまして、ワイワイ声を発しながらお汐井取りにきていたのを覚えている。部落に持ち帰って各戸に分配した。山仕事の時のマムシ除けに、とくにあらたかであったときいている。

お汐井は砂みそぎの一種で、つまりお汐井(砂)で身を清めるものである。この風習が残っているのは、全国でも筑前の博多、箱崎あたりの湾岸だけだという郷土史家もある。山笠のとき博多から大挙箱崎浜にお汐井取りに繰出すのも古くからの貴重な行事であるし、欠かせぬ夏の風物詩でもある。また社日蛸といって、これを食すると中風にかからぬといわれ、お汐井取場附近で賣っていたが、人々は競って買い求めていた。ただ今は余り見かけない。この話をするとき長くなるのでここでは省くが、博多仁和加にも同名の「社日蛸」という面白い仁和加があつて、箱善組の得意の演しもの一つでもある。因みに、本年は春の社日祭は三月十六日、秋の社日祭は九月二十二日である。

(終)

◎アンケート調査実施！

平成14年8月に、各町内の自治会長・子ども育成会長の皆様のお力をお借りして、箱崎のまちづくりに関する、アンケート調査を実施しました。また10月には、まち企画部会のメンバーで、街頭アンケートをグルメシティー前で行いました。

現在箱崎では、鉄道高架事業や国道3号線へと伸びる道路等の拡張事業が進みだし、町そのものが大きく変化しようとしています。そこで、箱崎にお住まいの皆さんが、箱崎の将来に何を望んでいるのかを調査するために、今回のアンケート調査を実施しました。（平成10年第1回アンケート調査実施）

《アンケート項目》

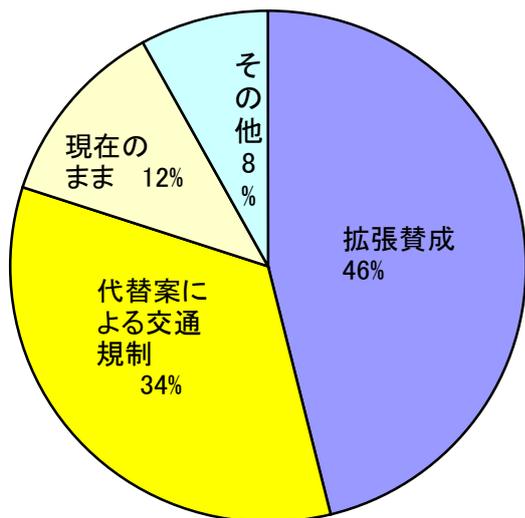
1. 性別
2. 年齢
3. まちづくり協議会を知っていますか
4. 箱崎の居住期間
5. 箱崎のどのようところが良いと思いますか
6. 箱崎のどのようところが悪いと思いますか
7. 居住したころと比べて、何が一番変わったと思いますか
8. 箱崎のまちについて
 - (1) マンションが増えたことについて、どう考えるか
 - (2) 大型道路ができることについて、どう思うか
 - (3) なぜそう考えるか
 - (4) 大学通りの道路拡張計画が以前からあるが、どう思うか
 - (5) 通行中危険だと思う箇所と改善策
 - (6) マンション建設に地域として条件を付けることについて、どう思うか
 - (7) なぜそう思うか
 - (8) マンション建設に条件を付けるとすると、何を望むか
 - (9) 箱崎には、どのような施設がないと思うか
9. 九州大学移転後の跡地利用について
 - (1) 大きな公園を作ることについて、どう思うか
 - (2) 箱崎小・中学校の移転について、どう思うか
 - (3) 小・中・高一貫の学校を誘致することについて、どう思うか
 - (4) 裁判所を移転して跡地に作ることについて、どう思うか
 - (5) 老人福祉施設を建設することについて、どう思うか
10. これから10年後、箱崎はどのような町になってほしいか

今回のアンケート調査は、460件の方に依頼し、340件（回答率73.9%）の回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

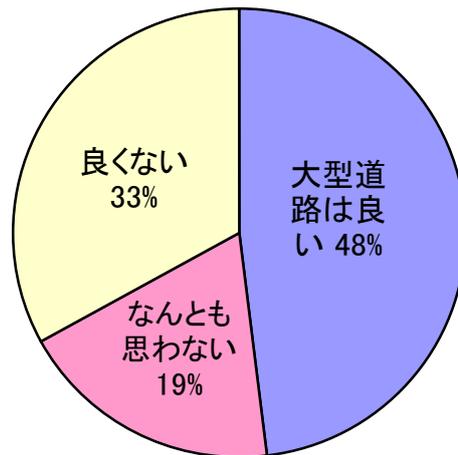
回答を抜粋して「道路関係」と「マンションについて」を円グラフにしてみました。

またアンケートの中には、箱崎の将来に「緑や自然の維持」「現在の箱崎の伝統や文化の保持」を望む声も多く聞かれました。

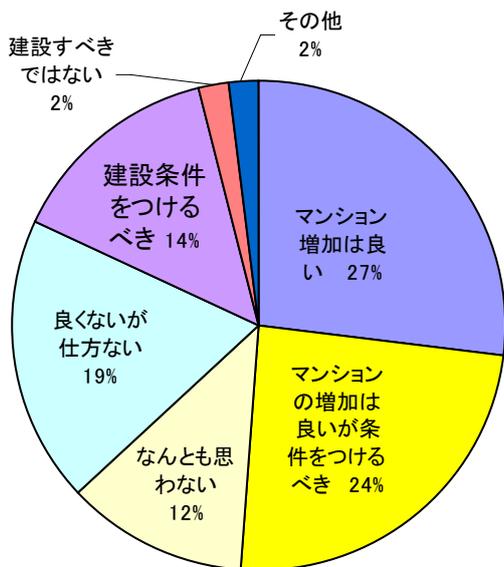
大学通りの拡張について



大型道路の建設について



マンションの増加について



◎ 意見交換会の開催！

箱崎の将来を考えた町づくりを今行わなければ、私たちが望んだ将来像とは、大きな隔たりができるのではないかと。箱崎の将来を考えた、町全体の将来像を早く作り上げる必要があるのではないかと意見から、まず大学通りの拡張計画について考えて行くこととし、大学通りに関係のある方々にお集まりいただき、大学通りの道路拡張についての意見交換会を行いました。

当日は、たくさんの皆様にお集まりいただき、活発な意見交換会となりました。まず、アンケート調査の結果説明を行った後、町づくりコンサルタントの十時さんに、箱崎の過去と現在・今後の都市計画の概要と、道路拡張が計画通りに行なわれた場合の、通り沿線の建物の状況変化をスクリーン映像（3D映像）により、細かく説明していただきました。参加された方たちからも、「こげん変わるとかいな！」「歩道が付くと、歩きやすくなる」など、いろいろなご意見をいただきました。参加された皆様のご意見としては、

- ①計画通り拡張すべきである
- ②拡張はすべきであるが、計画より小規模でよい
- ③現行のままで、一方通行などにより通行規制をするの3つに大別されましたが、いずれの意見も、「歩行者や商店街の活性化のためにも、歩道の確保は必要である」ことでは、共通していました。

今後は、大別された意見を中心として、さらに意見交換や問題点の抽出を行い、箱崎としての意見集約ができればと考えています。

今後も意見交換会を開催したいと考えていますので、どうぞご参加ください。

